

Environmental Examination Report

(1) Project Name

Copper mine expansion project

(2) Project Site

Region II (Antofagasta region), Republic of Chile

(3) Project Outline

Expansion and operation of copper mine

(4) Category Classification

Category A

(5) Reason for Classification

The project falls into the sensitive sector (Mining sector) and has sensitive characteristics under the Environmental Guidelines.

(6) Environmental Permits and Approvals

Environmental approval for Environmental Impact Assessment was issued by competent authority as of December 2016 with some voluntary commitments. After obtaining above approval, due to a minor change of the plan, the environmental approval for Environmental Impact Statement was issued by competent authority as of March 2019.

(7) Pollution Mitigation Measures

It is confirmed that air quality, water quality, waste, noise, and vibration are properly managed.

(8) Natural Environment

Appropriate measures are taken to avoid ecological impacts.

(9) Social Environment

The project does not involve resettlement. Appropriate measures are taken for the protection of the social environment.

(1 0) International Standard

IFC Performance Standards

(1 1) Others, Monitoring

Taking the above environmental review into consideration, JBIC will monitor items such as operator's reporting to the competent authority and compliance status regarding its voluntary commitments related to the EIA report, as well as the status of the operator's response to the guidance by competent authority if there is any.

質問事項

質問1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所: チリ共和国 アントファガスタ州 アントファガスタ市から北東約 155km のエリア

質問2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

Centinela 地区内の既存プラント南 7.5 kmの場所に処理量 95ktpd の新規選鉱プラントを建設することで、鉱石処理量を 200ktpd まで拡張し、銅/金/銀/モリブデンの生産量を増大させるプロジェクト。付随して、新尾鉱堆積場の建設、海水送水システム、精鉱パイプライン、モリブデンプラント、港の拡張を行う。

質問3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか？既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

新規 既往(苦情等あり) 既往(苦情等なし) その他()

質問4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価 (ESIA、EIA 等) はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

要(実施済) 要(実施中・計画中) 不要
 その他()

質問5. 環境社会影響評価が既に実施されている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み(附帯条件なし) 承認済み(附帯条件あり) 審査中
 その他()

- ・ 環境影響調査書 (EIA): 承認年月: 2016 年 12 月 承認機関: Environmental Assessment Service
- ・ 環境影響宣言書 (DIA): 承認年月: 2019 年 3 月 承認機関: Environmental Assessment Service
- ・ 環境影響宣言書 (DIA): 承認年月: 2021 年 7 月 承認機関: Environmental Assessment Service

質問6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

取得済み 取得必要だが未取得 取得不要 その他(取得必要だが、一部未取得)

- ・ 許認可名: 閉山計画や選鉱プラント、尾鉱・ズリ堆積場の建設許認可(取得済)。建設用の考古学許認可、港湾部での水のポンプシステム許認可等(2022年未までに取得予定)

質問7. 当行の出融資・保証の承諾後に具体的なプロジェクトが特定されるものですか？（例：承諾時にサブプロジェクトを特定できないツーステップローン等）

(Yes / No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

Noの場合、質問8以下にお答え下さい。

質問8. 当行の出融資・保証の対象は、国際収支支援、或いは特定のプロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース等、特定の地点／地域での設置や実施を伴わない製品或いはサービスの提供に該当しますか？

(Yes / No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

Noの場合、質問9以下にお答え下さい。

質問9. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes / No)

Yesの場合、該当するものをマークして下さい。質問10以下にお答え下さい。

Noの場合、質問10以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域（文化的、精神的な目的で使用される地域を含む）、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問10. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

Yes / No)

Yesの場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問11以下にお答え下さい。

Noの場合、質問12以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模： 人)
- (2) 地下水揚水 (規模： m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模： 1400 ha)
- (4) 森林伐採 (規模： ha)

質問 1 1. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問 10 (1) ~ (4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
 その他 ()

質問 1 2. プロジェクトは、人権を含む社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか？

(Yes No)

Yes の場合、該当する内容を記載して下さい。また、質問 13 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

- 人権への重大な影響を及ぼす可能性 ()
 その他 ()

質問 1 3. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が 10 百万 SDR 相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

(Yes No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 14 にお答え下さい。

質問 1 4. プロジェクトは、既に実施しているプロジェクトに対する増産又は拡張を伴わない設備投資或いは運転資金等に該当しますか？(例：既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得)

(Yes No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 15 以下にお答え下さい。

質問 15. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

Yes / No

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 16 にお答え下さい。
No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) セメント（新設の採石場を含むもの）
- (11) 有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- (12) 火力発電
- (13) 原子力発電
- (14) 水力発電、ダム、貯水池
- (15) 送変電・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- (16) 道路、鉄道、橋梁
- (17) 空港
- (18) 港湾
- (19) 下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- (20) 廃棄物処理・処分
- (21) 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- (22) 林業、植林
- (23) 観光（ホテル建設等）

質問 16. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

・概略開発面積：本拡張により新たに開発される面積：約 18,000 ha、本拡張後の Minera Centinela 全体の開発面積：約 26,800 ha

・施設面積：本拡張により新たに開発される施設面積：約 6,000 ha、本拡張後の Minera Centinela 全体の施設面積：約 8,500 ha

・生産量：山命平均で毎年銅 126 kt、金 117 koz、モリブデン 3.2 kt

・プロジェクト規模が大きいことによって環境影響評価が必要となるかどうか： 必要でない